

プレスリリース

2005年6月15日
日本技術者教育認定機構（JABEE）

「ワシントン・アコード加盟について」

この度、6月15日香港で開催された第7回ワシントン・アコード（WA）総会において日本技術者教育認定機構（会長吉川弘之）の加盟が全員一致で承認されました。非英語圏ではじめて日本を代表する技術者教育認定機関として、JABEEの加盟が認められました。

JABEEは、大学等の高等教育機関が行う技術者教育プログラムの認定を通じて、我が国の技術者教育の質保証体制を確立し、併せて国際的な同等性を確保することを目的として1999年11月に設立されました。2001年から認定審査を開始し、2004年度までに97校、186プログラムを認定し、国内外に公表しています。

JABEEは設立準備の時期から、我が国の教育制度を踏まえつつ、認定基準や審査の手順と方法などについては、米国等WA加盟国との実質的な同等性を確保できる認定審査システムを構築してきました。2001年に暫定加盟を果たし、その後の制度確立と認定実績により、

2003年11月と2004年4月のWA審査団による訪問審査を経て、今回正式加盟が実現しました。このことにより、JABEEにより認定された技術者教育プログラムの修了生は、加盟国の同一分野のプログラム修了生と同じ技術者教育を受けた者として認められることとなります。我が国の技術士制度においては、JABEE認定プログラムは官報に告示され、その修了生は技術士第一次試験が免除されて、直ちに技術士補となる資格を得ることができます。

(ワシントン・アコードとは)

1989年11月に、オーストラリア：Institution of Engineers, Australia(IEAust)、カナダ：Canadian Council of Professional Engineers(CCPE)、アイルランド：Institution of Engineers, Ireland(IEI)、ニュージーランド：Institution of Professional Engineers, New Zealand(IPENZ)、米国：Accreditation Board for Engineering and Technology(ABET)、及び英国：Engineering Council(EC)の技術者教育認定機関が、それぞれの認定基準及び審査の手順と方法が実質的に同等であることを相互承認し協定を結んだ。これが所謂 Washington Accord (WA)と呼ばれるものである。その後1995年に香港のHong Kong: Institution of Engineers(HKIE)、1999年に南アフリカ:Engineering Council of South Africa(ECSA)が加盟承認され、加盟団体は8団体となっている。2001年に日本からJABEEが、2003年にドイツ、シンガポール、マレーシアのそれぞれの認定機関の暫定加盟が認められている。アングロ・アメリカン諸国からスタートしたWAは、2001年の日本の暫定加盟を機会に非英語圏を含む世界の技術者教育認定機関の相互協定へと変遷・拡大し、2005年に新たに韓国、台湾が暫定加盟国として承認された。ロシア、中国なども加盟準備を進めている。

WAは、他の加盟団体が認定した技術者教育プログラムの修了者に対し、自国の認定機関が認定したプログラム修了者と同様な専門技術者の免許交付や登録

上の特典を与える前提として、実質的同等性に関する国際協定となっている。

WA の新規加盟が承認されるためには下記条件を満たさねばならない。

- ・ 最低 2 加盟団体の推薦と加盟団体の 2/3 以上の賛成により暫定加盟となっていること。
- ・ 暫定加盟後、申請機関により制定された認定基準と認定審査の手順と実施方法について WA の審査チームによる包括的な訪問審査が実施されていること。
- ・ 既存加盟団体の全員一致の承認が得られること。

(JABEE ウェブサイト) <http://www.jabee.org>

(吉川会長メッセージ)



大学、学協会、企業などの多くの関係者の努力によって、JABEE は着実に歩みを進めてきました。その努力がこのたびワシントン・アコードへの加盟承認として実を結んだことは大きな喜びであり、ここに関係者の方々に深甚の謝意を表します。日本の教育が国際舞台に登場するのはあまり例が無いことであり、このたびの加盟は、日本の技術者教育が新しい段階に入ると同時に、教育の分野での国際的責務が大きくなったことを意味します。今後は技術における研究開発のみならず、技術者教育の分野でもわが国が国際的に大きな貢献をすることが期待されます。